

日本うま味調味料協会 御中

“化学調味料無添加”表示関連消費者調査

--- 調査集計報告書 ---

【調査概要】

【主要調査結果】

<2019年2月調査>

- ・ Q1～Q2：“化学調味料”基本認識
- ・ Q3：“化学調味料”種類認識
- ・ Q4：“化学調味料無添加表示”認識
- ・ Q5：“化学調味料無添加表示”購入動機影響

<過去調査比較>

- ・ Q1～Q2：“化学調味料”基本認識
- ・ Q3：“化学調味料”種類認識
- ・ Q4：“化学調味料無添加表示”認識
- ・ Q5：“化学調味料無添加表示”購入動機影響

2019年3月28日

株式会社 エム・ディ・アイ ラボラトリ

■ 調査目的

- A. “化学調味料無添加表示”優良誤認
- B. 無化調表示の消費者購買動機影響度合いの確認

■ 実施時期

2019年2月8日～2月12日

■ 調査内容

一般消費者の認識：

- ・ 化学調味料
- ・ 無添加



一般消費者の意識・行動：

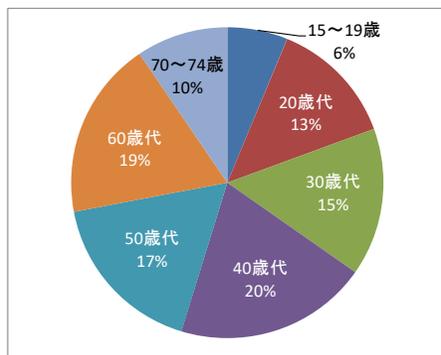
- ・ 無添加と安全安心
- ・ 購買行動影響

- 1) “化学調味料”の物質の定義についての認識
- 2) “化学調味料”の蓋然的判断の具体例：“化学調味料と言えば△△△”
- 3) “化学調味料無添加表示”の形成するイメージ
- 4) 購買決定要因の中の“無添加表示”の位置づけ

■ 調査サンプル

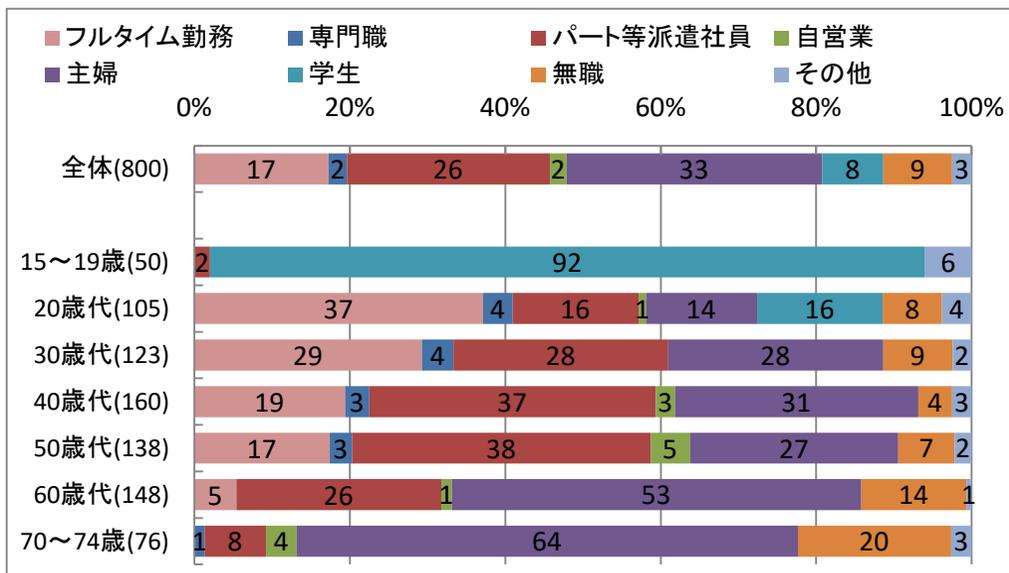
	女性
15～19歳	50
20歳代	105
30歳代	123
40歳代	160
50歳代	138
60歳代	148
70～74歳	76

15～74歳計	800
---------	-----



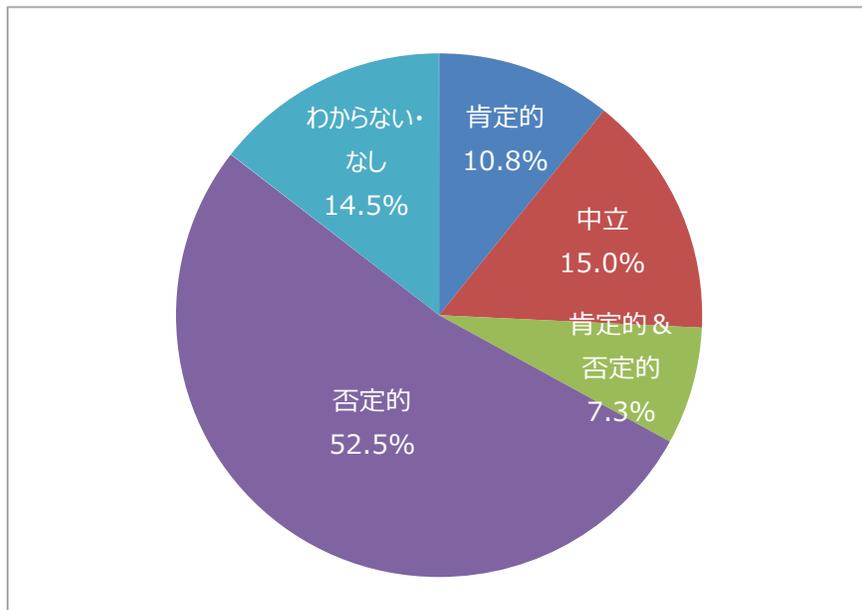
調査は今後のコミュニケーション強化ターゲットとして、女性だけに絞り込んだ。

年代別は推計人口2019/1/1暫定値を参考に割付を行った。



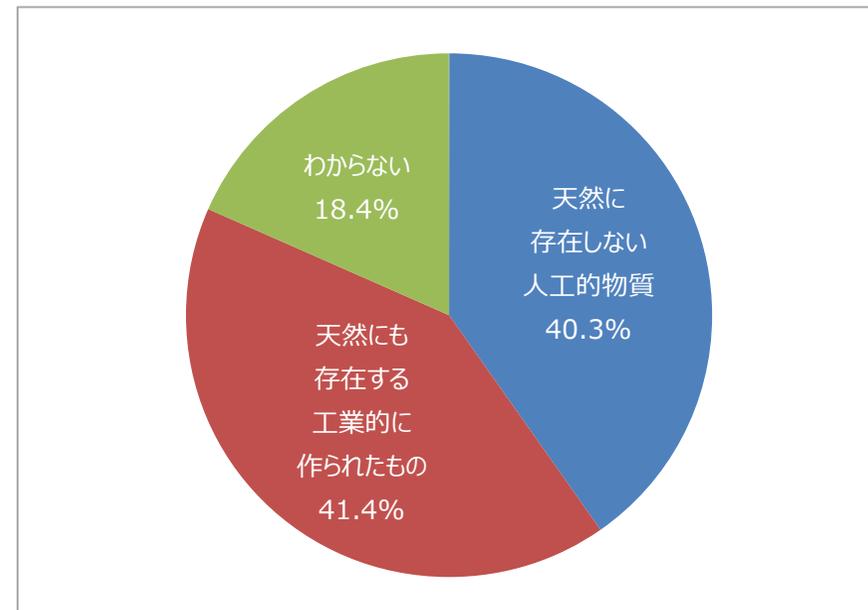
Q1. “化学調味料”という言葉にどのようなイメージをお持ちですか？
(FA)

“否定的意見”が過半数を占める。
次いで“中立意見”と“わからない”が15%前後。



Q2. “化学調味料”という言葉についてあなたの理解に当てはまるものはどれですか？ (SA)

“天然に存在しない”と“天然にも存在する”が4割でほぼ同等。

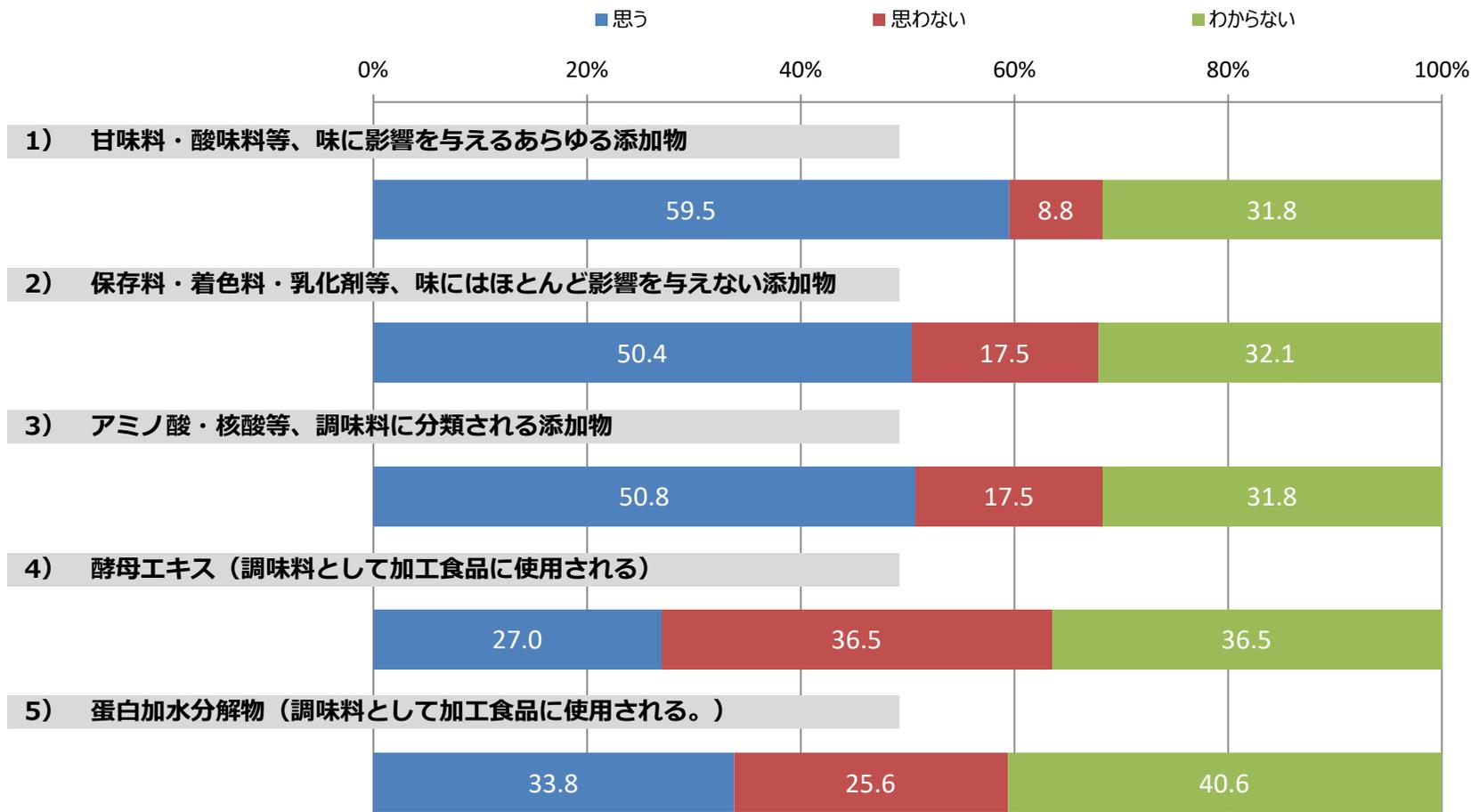


■ FA(自由回答) フラグと記述具体例の対応表

肯定的	中立	肯定的&否定的	否定的	わからない・なし
おいしい	味の素	保存がきく。身体に影響ありそう。	天然でない	特になし
ちょうど良い味付けができそう	アミノ酸	体に良くないが気軽に旨味を出せる	自然でない、不自然	なし
味が良くなる	グルタミン酸	体に悪い。美味しい。	人工	分からない
味をまろやかにする	旨み成分	手軽だが自然でない感じ	人工的、添加物	特に思い浮かばない。
手軽でおいしい	食品添加物	人工的に作ったもの。手軽。	化学的に工場	特にイメージはない。
簡単にだしが採れる	中国、中華料理	体には良くないけれど美味しい	良いイメージはない	何が違うのか分からない
上手に利用すれば、お料理がおいしい	様々な加工食品やお菓子に含まれているイメージ	人工的調味料、味は美味しさが感じられる	味が人工的、美味しくない	
天然物より安価で使いやすい。	塩コショウ	旨み成分。人工調味料。	身体に悪い	
素材の味を引き立たせてくれるもの。		自然から作ったものであっても合成している	体にはあまり良くない	

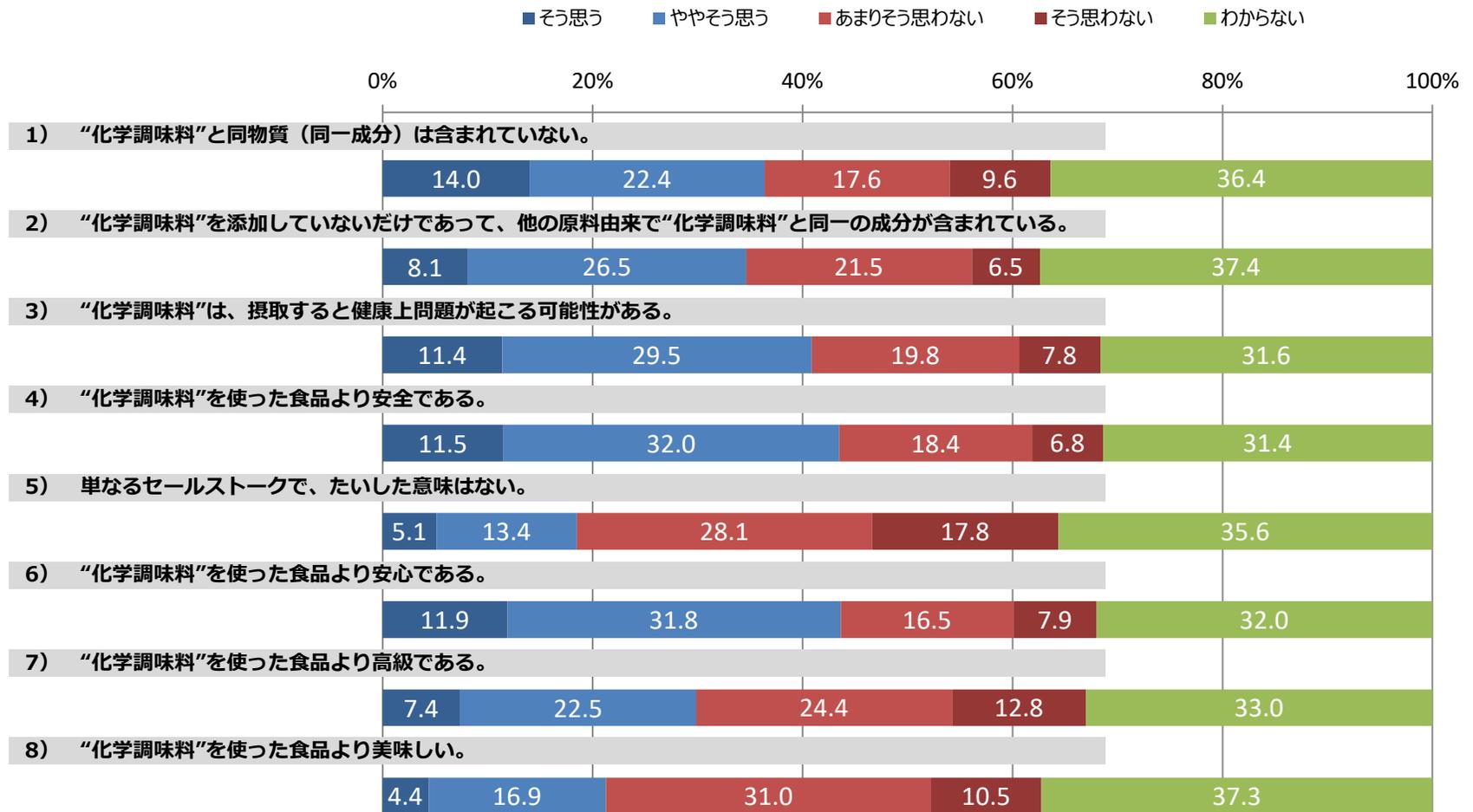
Q3. 以下のものはあなたの理解では“化学調味料”に入るとおもいますか？ (SA)

化学調味料とされているものは“甘味料・酸味料等”が60%で一番多く、“酵母エキス”が27%で一番少ない。



Q4. “化学調味料無添加”という表示のある食品を見た時に以下の項目についてどのように思いますか？ (SA)

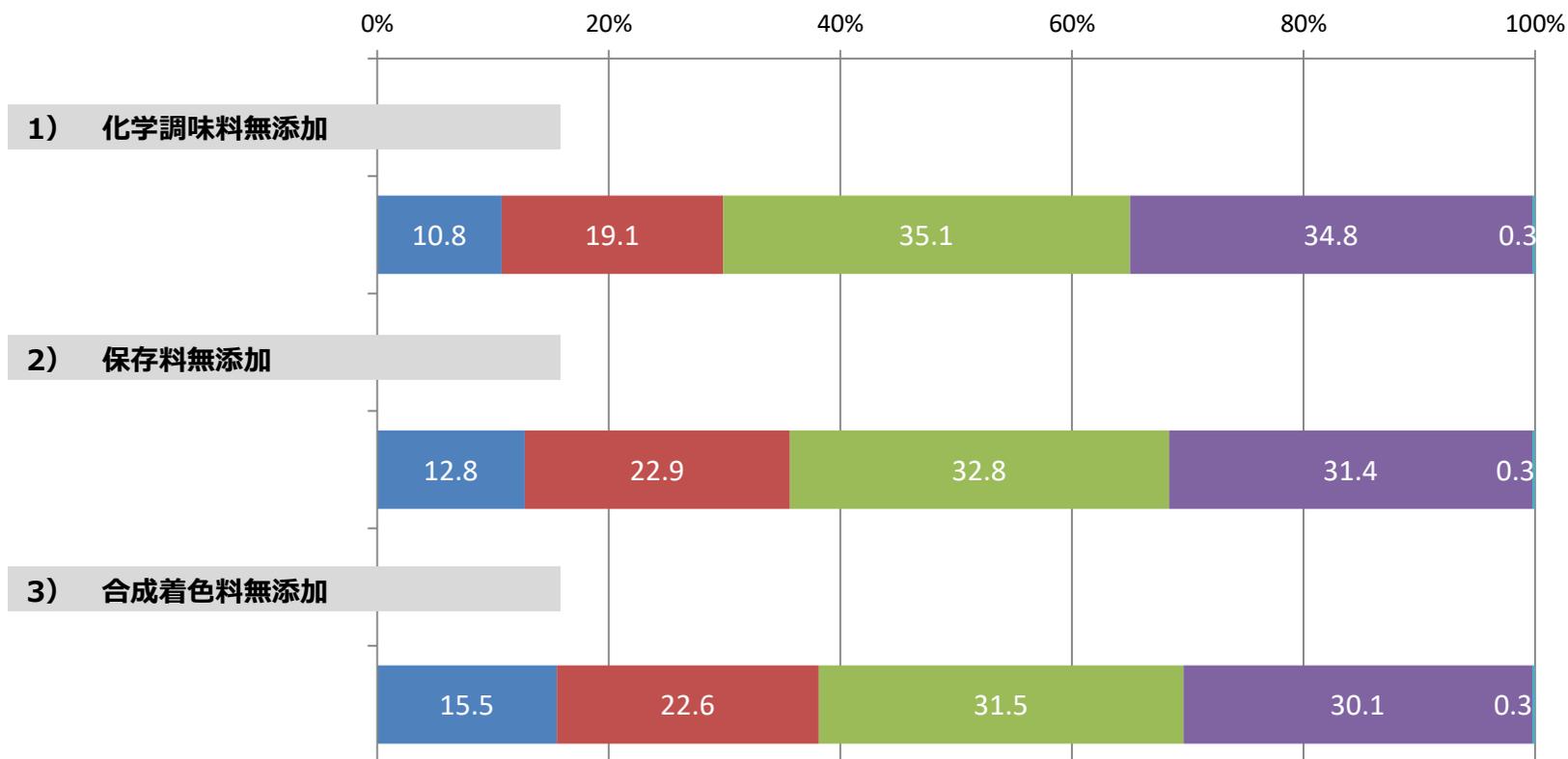
TP (Total Positive = “そう思う” + “ややそう思う”) で見ると、“4) 使った食品より安全”、“6) 使った食品より安心” がいずれも44%で多く、“5) 単なるセールストーク” が2割以下で一番少ない。



Q5. 食品を購入される時に以下に挙げる表示がされている場合にどの程度購入の決め手になりますか？ (SA)

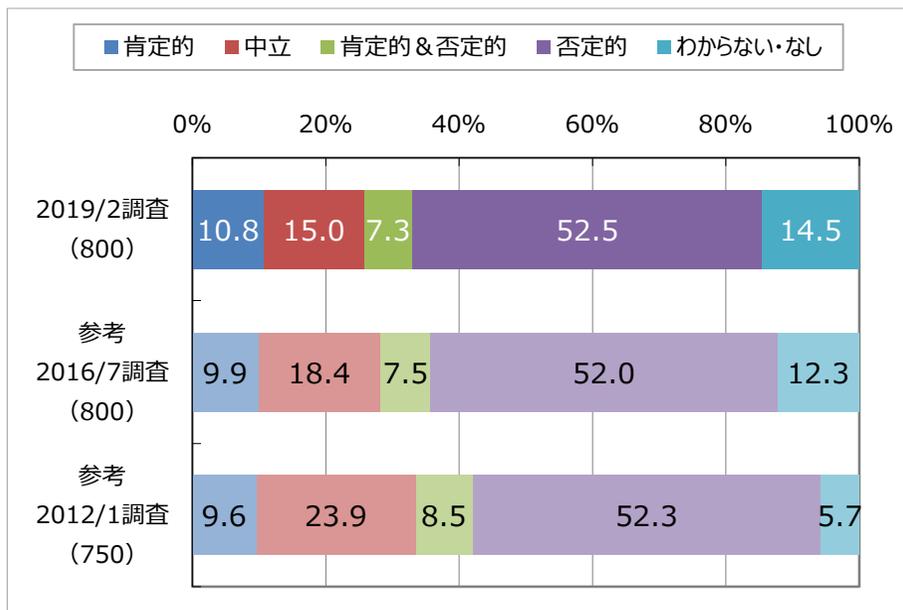
“無添加”表示を“要因”とする割合は、合成着色料 > 保存料 > 化学調味料 であるが、大きな差はない。いずれも“一要因だが、他の基準を優先”が一番多い。

■ 最大の要因 ■ 一要因で、かなり重きを置く ■ 一要因だが、他の基準を優先 ■ 要因にすることはほとんどない ■ 何れにも当てはまらない



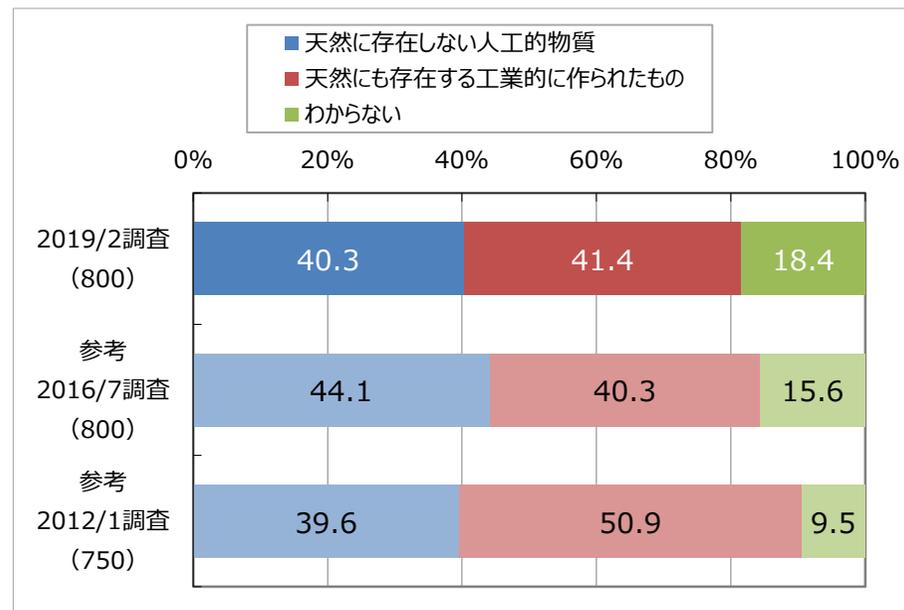
Q1. “化学調味料”という言葉にどのようなイメージをお持ちですか？ (FA)

“否定的意見”が過半数を占める。
2016年対比で“わからない”がさらに増え、“中立的意見”は減少。



Q2. “化学調味料”という言葉についてあなたの理解に当てはまるものはどれですか？ (SA)

2016年対比で“わからない”がさらに3 割増加。
“天然に存在しない”は4 割減り、“天然に存在する”とほぼ同等。



■ FA(自由回答) フラグと記述具体例の対応表 (2019/2調査)

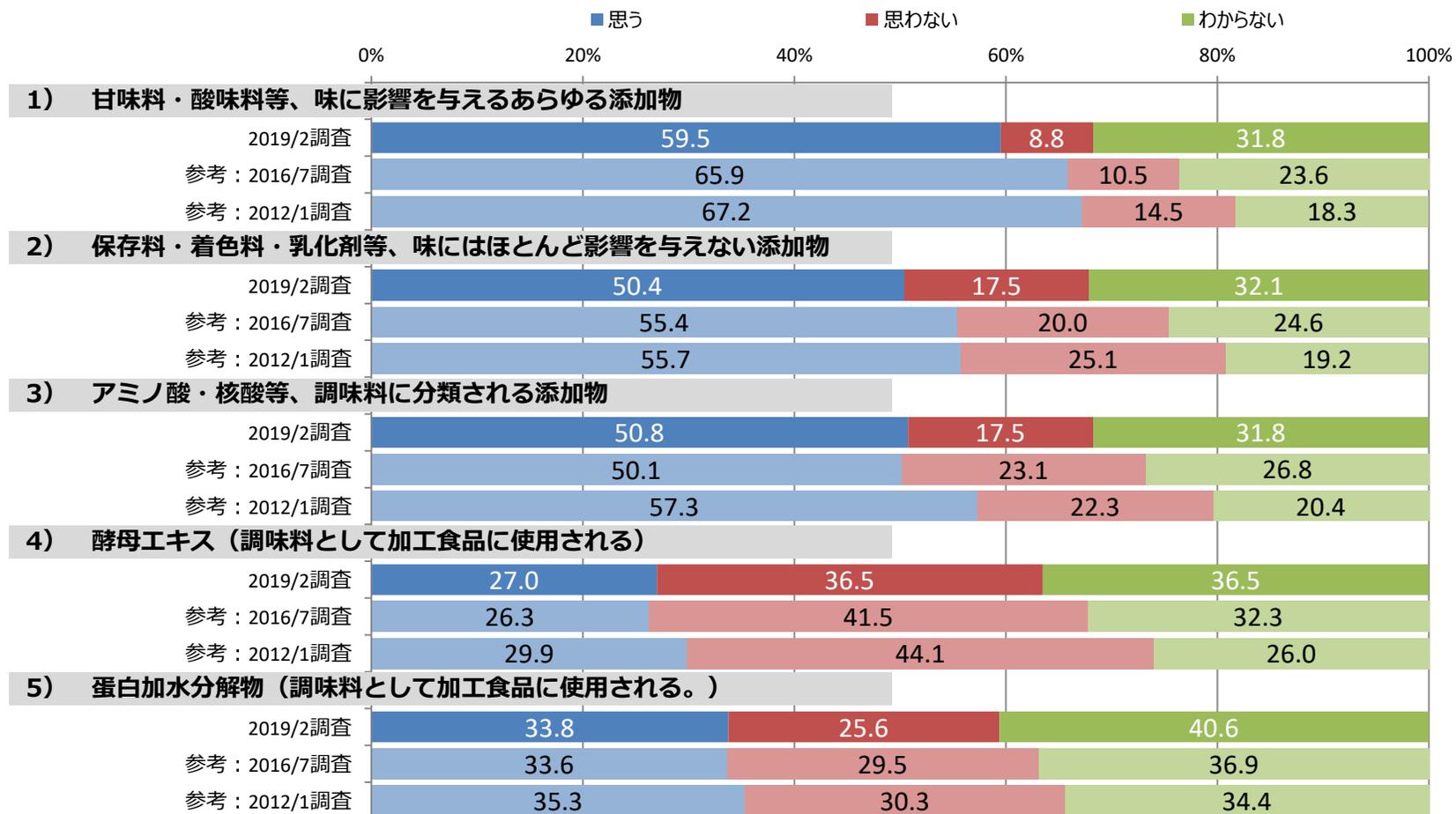
肯定的	中立	肯定的&否定的	否定的	わからない・なし
おいしい	味の素	保存がきく。身体に影響ありそう。	天然でない	特になし
ちょうど良い味付けができそう	アミノ酸	体に良くないが気軽に旨味を出せる	自然でない、不自然	なし
味が良くなる	グルタミン酸	体に悪い。美味しい。	人工	分からない
味をまろやかにする	旨み成分	手軽だが自然でない感じ	人工的、添加物	特に思い浮かばない。
手軽でおいしい	食品添加物	人工的に作ったもの。手軽。	化学的に工場	特にイメージはない。
簡単にだしが採れる	中国、中華料理	体には良くないけれど美味しい	良いイメージはない	何が違うのか分からない
上手に利用すれば、お料理がおいしい	様々な加工食品やお菓子に含まれているイメージ	人工的調味料、味は美味しさが感じられる	味が人工的、美味しくない	
天然物より安価で使いやすい。	塩コショウ	旨み成分。人工調味料。	身体に悪い	
素材の味を引き立たせてくれるもの。		自然から作ったものであっても合成している	体にはあまり良くない	

Q3. 以下のものはあなたの理解では“化学調味料”に入りますか？ (SA)

化学調味料とされているものは“甘味料・酸味料等”が一番多く、“酵母エキス”が一番少ない。

“思う”は2016年対比で、いずれも減少傾向かほぼ同等。特に“甘味料・酸味料等”は6%減少。

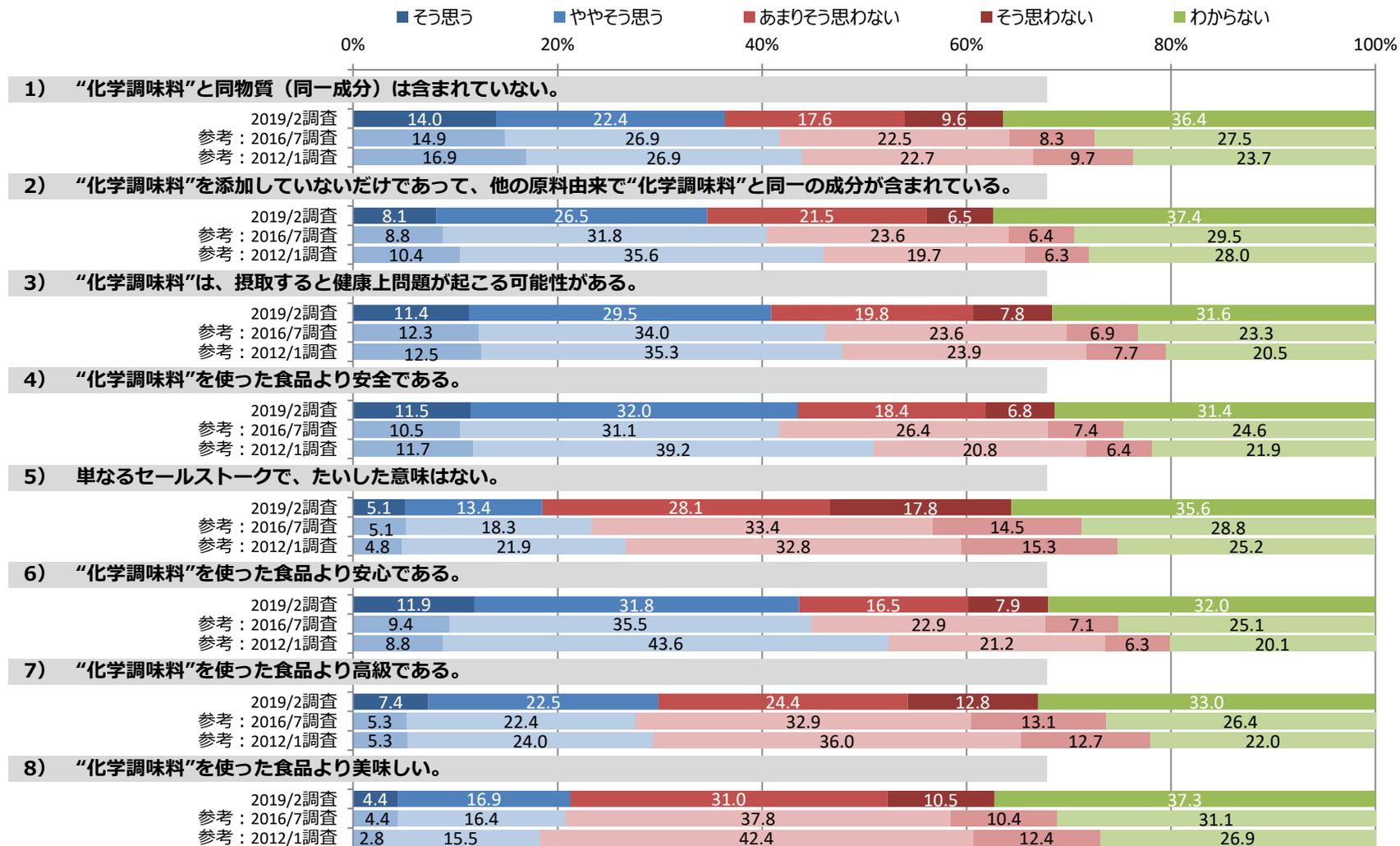
“思わない”も全て減少しており、“わからない”が増加している。



Q4. “化学調味料無添加”という表示のある食品を見た時に以下の項目についてどのように思いますか？ (SA)

TP (Total Positive = “そう思う” + “ややそう思う”) で見ると、“4) 使った食品より安全”、“6) 使った食品より安心”がいずれも44%で多く、“5) 単なるセールストーク”が2割以下で一番少ない。

“わからない”は2016年対比で、いずれもさらに増加している。



Q5. 食品を購入される時に以下に挙げる表示がされている場合にどの程度購入の決め手になりますか？ (SA)

“無添加”表示を“要因”とする割合は、合成着色料 > 保存料 > 化学調味料 であるが、大きな差はない。いずれも“一要因だが他の基準を優先”が一番多い。

いずれも2016年対比で“要因にすることはほとんどない”が増加し、他の項目は減少傾向。

